

事 項	概 要 等	備 考																											
<p>いばらきイメージアップ大賞の受賞者の決定について</p>	<p>いばらきイメージアップ大賞実行委員会（委員長：橋本 昌）は、第1回いばらきイメージアップ大賞の受賞者を次のとおり決定した。（大賞1点，奨励賞6点）</p> <p><b>1．大賞</b></p> <table border="1" data-bbox="507 363 2003 595"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>取組概要</th> <th>評価のポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つくばエクスプレス（TX）とつくばスタイル</td> <td>H17年に開業したTXとともに、同沿線地域の魅力である「都市」「自然」「知」の3つを融合したライフスタイルの首都圏に向けた積極的な発信により、交流の拡大と定住化を促進。</td> <td>東京への利便性を向上させるとともに、つくば特有の魅力を存分に活かした新しいライフスタイルを提案し、つくば及び周辺地域、さらには本県のイメージを飛躍的に向上させた。今後とも元気ないばらきの魁として益々の発展を期待。</td> </tr> </tbody> </table> <p>受賞者としては、TXとつくばスタイルを創っている様々な取組のすべて。表彰にあたっては、それらを代表するものとして、TXのイメージキャラクター「スピーフィ」に表彰プレート、副賞（日本一の茨城の栗）を贈呈予定。</p> <p><b>2．奨励賞</b></p> <table border="1" data-bbox="507 724 2003 1535"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>取組概要</th> <th>評価のポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>里美ツーリズム探究会</td> <td>常陸太田市の地元有志が新たな交流拠点として、古民家「荒蒔邸」を活用した貸し別荘型の会員制農家民宿を運営。</td> <td>県北地域におけるグリーンツーリズムの新しいスタイルを都市住民に提供。古民家を活用した新しい農家民宿のビジネスモデルを評価。</td> </tr> <tr> <td>西塩子の回り舞台保存会</td> <td>常陸大宮市西塩子地区に江戸時代から伝わる組立て式回り舞台を約半世紀ぶりに復活させ、3年に1度の舞台の組立てと公演を実施。今年10月28～29日に公演。</td> <td>現存する日本最古の組立式回り舞台を約半世紀ぶりに再興させた住民のパワーとスケールの大きな取組は見事。世代を超えた地域伝統文化の継承と発展に期待。</td> </tr> <tr> <td>水戸オセロプロジェクトいばらき推進委員会</td> <td>第30回世界オセロ選手権大会（H18年10月5～8日）を水戸で開催し、世界に向けてオセロ発祥の地「水戸」をPR。</td> <td>オセロ発祥の地として世界に向けて情報を発信。オセロを活かした世界と交流するまちづくりの今後の発展に期待。</td> </tr> <tr> <td>いしやのトマト組合</td> <td>笠間市及び桜川市の石材業者が加工過程で発生する研磨粉を再利用した粒状の培土を官民共同で開発し、高糖度のトマト栽培を実施。</td> <td>石材業者が異業種である農業にチャレンジし、廃材を活用したフルーツトマトを凌ぐ高糖度のトマト栽培に成功。「いしやのトマト」のブランド化に期待。</td> </tr> <tr> <td>NPO法人 大洗海の大学</td> <td>大洗町全体をフィールドとして、地域の人やものを最大限に活用した海をテーマとする交流プログラムの開発と実施。</td> <td>海にまつわる地域資源を存分に活用し、住民総ぐるみで斬新な体験プログラムを創出。本県を代表する海を舞台とした交流の先導者としての活躍に期待。</td> </tr> <tr> <td>桜川市真壁地区の住民の皆さん</td> <td>歴史的な街並みの保存活動や、まちを訪れる人との交流を図るため「真壁のひなまつり」など住民のアイデアを結集した様々な取組を実施。</td> <td>住民の創意工夫により歴史的・文化的地域資源を活かした市民が支える自主的なまちづくり活動のモデルであり、今後は本県を代表する観光地として発展することを期待。</td> </tr> </tbody> </table> <p>受賞者には、表彰プレート、副賞（日本一の茨城の栗）を贈呈予定。</p> <p><b>3．表彰式</b></p> <p>(1) 日 時：平成18年10月19日（木）午後1時～4時  (2) 会 場：県民文化センター 「大好き いばらき“地域づくり”県民大会」で表彰</p> <p><b>4．問い合わせ先</b>  いばらきイメージアップ大賞実行委員会事務局（県地域計画課内）：電話 029-301-2720，FAX 029-301-2739</p>	団体名	取組概要	評価のポイント	つくばエクスプレス（TX）とつくばスタイル	H17年に開業したTXとともに、同沿線地域の魅力である「都市」「自然」「知」の3つを融合したライフスタイルの首都圏に向けた積極的な発信により、交流の拡大と定住化を促進。	東京への利便性を向上させるとともに、つくば特有の魅力を存分に活かした新しいライフスタイルを提案し、つくば及び周辺地域、さらには本県のイメージを飛躍的に向上させた。今後とも元気ないばらきの魁として益々の発展を期待。	団体名	取組概要	評価のポイント	里美ツーリズム探究会	常陸太田市の地元有志が新たな交流拠点として、古民家「荒蒔邸」を活用した貸し別荘型の会員制農家民宿を運営。	県北地域におけるグリーンツーリズムの新しいスタイルを都市住民に提供。古民家を活用した新しい農家民宿のビジネスモデルを評価。	西塩子の回り舞台保存会	常陸大宮市西塩子地区に江戸時代から伝わる組立て式回り舞台を約半世紀ぶりに復活させ、3年に1度の舞台の組立てと公演を実施。今年10月28～29日に公演。	現存する日本最古の組立式回り舞台を約半世紀ぶりに再興させた住民のパワーとスケールの大きな取組は見事。世代を超えた地域伝統文化の継承と発展に期待。	水戸オセロプロジェクトいばらき推進委員会	第30回世界オセロ選手権大会（H18年10月5～8日）を水戸で開催し、世界に向けてオセロ発祥の地「水戸」をPR。	オセロ発祥の地として世界に向けて情報を発信。オセロを活かした世界と交流するまちづくりの今後の発展に期待。	いしやのトマト組合	笠間市及び桜川市の石材業者が加工過程で発生する研磨粉を再利用した粒状の培土を官民共同で開発し、高糖度のトマト栽培を実施。	石材業者が異業種である農業にチャレンジし、廃材を活用したフルーツトマトを凌ぐ高糖度のトマト栽培に成功。「いしやのトマト」のブランド化に期待。	NPO法人 大洗海の大学	大洗町全体をフィールドとして、地域の人やものを最大限に活用した海をテーマとする交流プログラムの開発と実施。	海にまつわる地域資源を存分に活用し、住民総ぐるみで斬新な体験プログラムを創出。本県を代表する海を舞台とした交流の先導者としての活躍に期待。	桜川市真壁地区の住民の皆さん	歴史的な街並みの保存活動や、まちを訪れる人との交流を図るため「真壁のひなまつり」など住民のアイデアを結集した様々な取組を実施。	住民の創意工夫により歴史的・文化的地域資源を活かした市民が支える自主的なまちづくり活動のモデルであり、今後は本県を代表する観光地として発展することを期待。	<p>本賞の趣旨  元気ないばらきのイメージアップとなる県民・企業・行政などの様々な取組を表彰し、県内外にPRを図る。これにより、郷土への誇りの醸成と県の一層のイメージアップを図り、新たな取組のきっかけとすることで「元気ないばらきづくり」を推進する。</p> <p>選考等の経過</p> <p>1 募集  (1) 応募期間：H18.4.28～H18.5.31  (2) 応募延べ件数：135件</p> <p>2 審査  (1) いばらきイメージアップ大賞実行委員会委員による審査  (2) いばらきイメージアップ大賞実行委員会メンバー</p> <p>【委員長】  橋本 昌 県知事</p> <p>【委員】  青木 智也 作家  織作 峰子 写真家  川上 美智子 茨城キリスト教大学教授  河野 純子 とらばーゆ編集長  北村 森 日経トレンディ編集長  蓮見 孝 筑波大学教授  渡辺 広之 電通プロジェクトマネージャ局次長</p>
団体名	取組概要	評価のポイント																											
つくばエクスプレス（TX）とつくばスタイル	H17年に開業したTXとともに、同沿線地域の魅力である「都市」「自然」「知」の3つを融合したライフスタイルの首都圏に向けた積極的な発信により、交流の拡大と定住化を促進。	東京への利便性を向上させるとともに、つくば特有の魅力を存分に活かした新しいライフスタイルを提案し、つくば及び周辺地域、さらには本県のイメージを飛躍的に向上させた。今後とも元気ないばらきの魁として益々の発展を期待。																											
団体名	取組概要	評価のポイント																											
里美ツーリズム探究会	常陸太田市の地元有志が新たな交流拠点として、古民家「荒蒔邸」を活用した貸し別荘型の会員制農家民宿を運営。	県北地域におけるグリーンツーリズムの新しいスタイルを都市住民に提供。古民家を活用した新しい農家民宿のビジネスモデルを評価。																											
西塩子の回り舞台保存会	常陸大宮市西塩子地区に江戸時代から伝わる組立て式回り舞台を約半世紀ぶりに復活させ、3年に1度の舞台の組立てと公演を実施。今年10月28～29日に公演。	現存する日本最古の組立式回り舞台を約半世紀ぶりに再興させた住民のパワーとスケールの大きな取組は見事。世代を超えた地域伝統文化の継承と発展に期待。																											
水戸オセロプロジェクトいばらき推進委員会	第30回世界オセロ選手権大会（H18年10月5～8日）を水戸で開催し、世界に向けてオセロ発祥の地「水戸」をPR。	オセロ発祥の地として世界に向けて情報を発信。オセロを活かした世界と交流するまちづくりの今後の発展に期待。																											
いしやのトマト組合	笠間市及び桜川市の石材業者が加工過程で発生する研磨粉を再利用した粒状の培土を官民共同で開発し、高糖度のトマト栽培を実施。	石材業者が異業種である農業にチャレンジし、廃材を活用したフルーツトマトを凌ぐ高糖度のトマト栽培に成功。「いしやのトマト」のブランド化に期待。																											
NPO法人 大洗海の大学	大洗町全体をフィールドとして、地域の人やものを最大限に活用した海をテーマとする交流プログラムの開発と実施。	海にまつわる地域資源を存分に活用し、住民総ぐるみで斬新な体験プログラムを創出。本県を代表する海を舞台とした交流の先導者としての活躍に期待。																											
桜川市真壁地区の住民の皆さん	歴史的な街並みの保存活動や、まちを訪れる人との交流を図るため「真壁のひなまつり」など住民のアイデアを結集した様々な取組を実施。	住民の創意工夫により歴史的・文化的地域資源を活かした市民が支える自主的なまちづくり活動のモデルであり、今後は本県を代表する観光地として発展することを期待。																											

第1回いばらきイメージアップ大賞実行委員会委員コメント

委員	コメント
<p>あおき ともや 青木 智也 (作家)</p>	<p>「TX とつくばスタイル」は話題性という意味では一歩抜きん出ていました。ただ、つくばスタイルはまだまだイメージ先行で、ライフスタイルとして定着するかどうかは今後の取り組み次第ですね。奨励賞の6組はTXほどの話題性や華やかさはありませんが、私はある意味こちらの方が「茨城らしさ」だと思います。この中から将来の大賞が出る可能性は大いにあるでしょう。あと、来年は団体だけではなく、ぜひ元気な「個人」に受賞して欲しいですね。</p>
<p>おりさく みねこ 織作 峰子 (写真家)</p>	<p>私の中での茨城のイメージは「豊かで美味しい県」です。筑波山の稜線を背景に大きな大地で生産される製品(いしやのトマト)は魅力的でした。以前取材で訪れた真壁の情緒ある町並みも魅力でしたが、何ととっても老若男女に幅広く注目されたつくばエクスプレスとつくばスタイルは、未来への躍動、茨城の大いなる発展をイメージさせる意味で選ばせていただきました。</p>
<p>かわかみ みちこ 川上 美智子 (茨城大学 教授)</p>	<p>審査会に参加し、茨城の素晴らしさを再発見することができた。1次選考に残った審査対象項目は、いずれも茨城をアピールできる優れた取組であり、県民を中心とする地域活動が盛んになっていることを伺わせた。また、農山漁村を基盤とする生活文化や歴史の掘り起こしと伝承を目的とするもの、新たな生活スタイルやヒーリングに寄与するもの、茨城県が目指す科学技術に関するものなど多岐にわたる内容となっており、今後の茨城県の発展を予感させるものであった。県外在住委員が茨城に期待するもの(都会で失われた農山漁村としての文化や魅力)と県内在住の者が今後期待するもの(都会に負けない、都会を超える茨城)には、ギャップがあることも感じさせられた。</p>
<p>かわの じゅんこ 河野 純子 (とらばーゆ編集長)</p>	<p>高校卒業以来、茨城を離れている私にとって、今回の審査会は、茨城の魅力あらためて知る素晴らしい機会でした。選考にあたっては、その地域ならではの資源を活かし、地域のみなさんが愛情と誇りを持って実施している取り組みで、県外者からみて魅力的なものを重視しました。例えば東京在住者にとって、TX開通を機に提案した「つくばスタイル」という豊かなライフスタイルや、真壁地区のひな祭りなどは非常に魅力的なものです。また水戸オセロプロジェクトによって、水戸市は世界的に注目されるでしょう。今後の展開に大いに期待したいと思います。</p>
<p>きたむら もり 北村 森 (日経トレンディ編集 長)</p>	<p>古民家、伝統芸能、風情ある街並み.....茨城にはさまざまな魅力があり、また、それらを大切に育む人たちがいることを改めて知りました。記念すべき「第1回いばらきイメージアップ大賞」。茨城県が推進するTXとつくばスタイルが結果的に今回の大賞となりましたが、市井の人々が地道におこなう数々の活動も大賞の有力候補でありました。私はむしろ、そちらに心惹かれたことを、ここに記しておきます。</p>
<p>はすみ たかし 蓮見 孝 (筑波大学教授)</p>	<p>応募用紙にはどれも、自らを発信しようとする熱意があふれていました。このような顕彰のしくみを通して、地域のプレゼンテーション力が向上し、いばらきらしさに磨きがかかることでしょう。いばらきには、洗練された鉄道沿線の街並みや、トップクラスのリゾート地がありませんでした。大賞となった「TXとつくばスタイル」は、まだまだ生まれたばかりであり、ホンモノに育つには、時間が必要です。みんなでじっくりと、「よいもの育て」に力を合わせていきましょう。</p>
<p>わたなべ ひろゆき 渡辺 広之 (電通デジタル ディレクター局長)</p>	<p>評価のポイントとして、独自性(オリジナル) 話題性(情報発信力がある) 意外性(知られざる) 発展性(可能性がある)の観点から賞を選定しました。今回は名乗りを上げたことになるので、今後県内にある沢山の「いばらきの魅力」を取り上げ、県内はもちろん、県外、海外からの評価を上げ、イメージアップを通じて「交流」「居住」「投資」などの「財産形成」につなげることが重要です。</p>



西塚子の語り舞台保存会 賞  
 水戸オセロプロジェクトいばらき推進委員会 賞  
 いしやのトマト組合 賞  
 NPO法人 大洗海の大学 賞  
 飯沼町農業地区の住民の皆さん



西塚子の語り舞台保存会 賞  
 水戸オセロプロジェクトいばらき推進委員会 賞  
 いしやのトマト組合 賞  
 NPO法人 大洗海の大学 賞  
 飯沼町農業地区の住民の皆さん